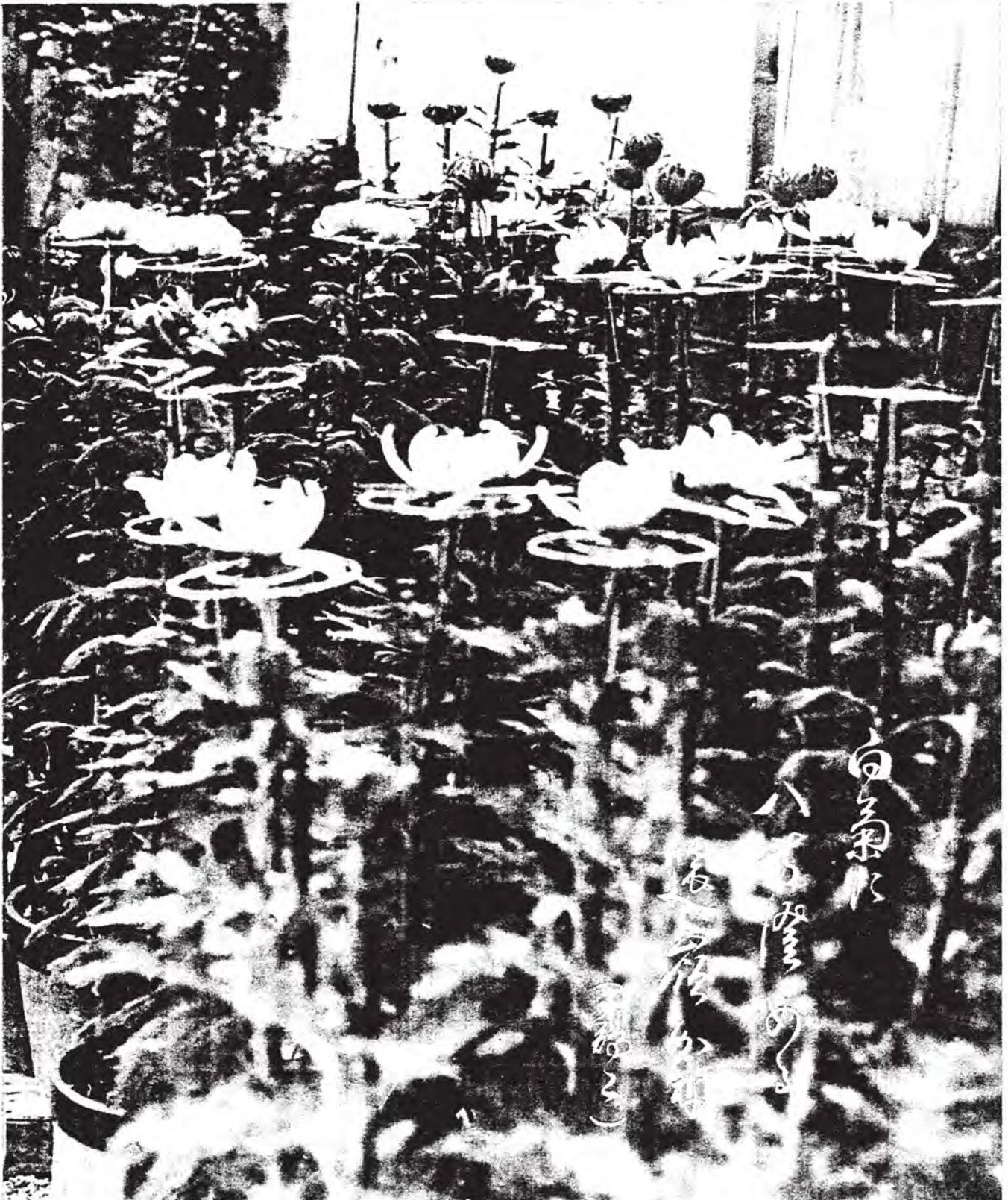


大野

No. 3
 45. 11. 1
 発行 大野市議会
 電 6-1111
 印刷 松浦印刷所



白菊
 八重咲き
 大野市議会
 昭和二十五年十一月一日

9 月 定 例 市 議 会

機 構 改 革 案 等

十 八 議 案 可 決 成 る

九月定例市議会は、九月二十二日招集、会期を二十八日までの七日間と決定し、一般・特別会計補正予算、大野市役所課室設置条例の一部を改正する条例など十八議案を審議し、いずれも原案どおり可決、承認、同意しました。

▽45年度一般会計補正予算

今回の補正額は三千九百六十万二千円で、その中には土地開発基金二千八百九十万円も含まれており、総額十二億三千八百四十四万円となりました。主なものは次のとおりです。

(歳入)

地方交付税 五千四百二十二万三千円
分担金及負担金 四万八千円
使用料及手数料 一百九十万八千円
国庫支出金 六百五十七万五千円
県支出金 一百七十五万三千円
寄付金 一百五十二万二千円

(減額されたもの)

諸収入 二千八百七十二万四千円
(歳出)
総務費 四千八十五万六千円
土地開発基金三千八百九十万円など
民生費 二百三十三万一千円

精薄者施設委託料

衛生費 一百四十二万二千円など
焼却ろ・煙道工事 五百三万円

農林業費

農免道路(富田地区) 四百五十三万一千円

入会林野整備人夫賃 一百七十万円
土工費 十五万円
工場適地パンフレット 十万円など
土木費 一千五百八十三万二千円
道路補修工事 二百万円
道路改良舗装工事 三百万円
亀山公園工事費 五百五十八万七千円

駅東舗装工事 三百五十万円など
消防費 二百四十四万四千円
防火水槽工事 五十六万円
積載車 八十三万円
小型ポンプ 三十三万円
中古消防車 十五万円など
教育費 四百二十九万二千円
下庄小給食委託 九十五万七千円
通学区域審議会報酬 七万三千元
大野音頭製作(レコード) 十万円など

繰上充用金 二千八百七十二万四千円
(減額されたもの)
▽45年度大野市特別会計国民健康保険事業補正予算
療養費補正など 一千二百十五万六千円

▽45年度大野市特別会計簡易水道事業補正予算
水源増設給水管改良工事(歳入) 二百五十八万三千元など
(減額されたもの)
本木水道水源増改良工事 四百五十三万二千円など

▽45年度大野市特別会計旧西谷村民健康保険事業補正予算
旧西谷村民の方の医療費補正として 二百九万六千円など

▽土地開発基金設置条例
公用、公共用土地取得の円滑化を図るための基金の設置

▽大野市役所課室設置条例の一部を改正する条例
都市開発の促進、企画部門の充実、公害対策の推進、住人情報管理の近代化等により多様化する行政需要にこたえ行政機構の改革を行なう

▽大野市議会委員会条例の一部を改正する条例
機構改革に伴い常任委員会の所管を改める

▽大野市特別職報酬等審議会条例の一部を改正する条例
機構改革に伴い審議会の庶務を行う課を庶務課に改める

▽大野市都市計画審議会条例の一部を改正する条例
機構改革に伴い審議会の庶務を行う課を都市計画課に改める。

▽大野市立保育所設置条例等の一部を改正する条例
保育所に主任保母制を採用し、園長の職務の一部を代理させる

▽大野市母子寮条例を廃止する条例
収容母子世帯数が年々減少し、昭和45年9月で収容世帯がなくなるため施設を廃止する。

▽大野市通学区域審議会条例
大野市の教育向上に資するよう従来の通学区域を適正にするため、通学区域審議会を設置する

▽大野市特別職の職員で非常勤のもの報酬および費用弁償に関する条例の一部を改正する条例
通学区域審議会委員の報酬および費用弁償の条例規定

▽専決処分の承認を求めることについて
地方税法第70条の4の規定により低所得者の国民健康保険税の減額を行う。

▽字区域の変更について
佐開土地改良事業の完了に伴う字区域の変更

議 案 と そ の 結 果

議案番号	件 名	付託区分	結果
第六十一号	財政再建計画の変更について	財政対策	可決
第六十二号	昭和四十五年大野市一般会計補正予算案	各常任委	可決
第六十三号	昭和四十五年大野市特別会計国民健康保険事業補正予算案	教育民生	可決
第六十四号	昭和四十五年大野市特別会計簡易水道事業補正予算案	〃	〃
第六十五号	昭和四十五年大野市特別会計旧西谷村民健康保険事業補正予算案	〃	〃
第六十六号	土地開発基金設置条例案	総務	〃
第六十七号	大野市役所課室設置条例の一部を改正する条例案	〃	〃
第六十八号	大野市議会事務局設置条例の一部を改正する条例案	〃	〃
第六十九号	大野市議会委員会条例の一部を改正する条例案	〃	〃
第七〇号	大野市特別職報酬等審議会条例の一部を改正する条例案	〃	〃
第七一号	大野市都市計画審議会条例の一部を改正する条例案	建設	〃
第七二号	大野市立保育所設置条例等の一部を改正する条例案	教育民生	〃
第七三号	大野市母子寮条例を廃止する条例案	〃	〃

一般質問

九月二十四日に一般質問が五名の議員によりなされ、これに対し理事者側からそれぞれ答弁がありました。

市長のビジョンを示せ

市長は今回無投票で再選されてからはじめての定例会でありますので、二期目の市長の市政に対するビジョンを具体的に説明願いたい。

企業、商店の協業化を推進せよ

当市の場合、基幹産業である繊維産業、商店はいたるところに分散して企業生産、労務者確保に苦勞しているのが実情であります。

土地開発基金について

土地開発基金として、三千八百九十万の予算計上がなされておりますが、この予算は当面の有終中学校敷地買収費として計上されている訳ですが。

子ビツ子広場に開放したら

水落町にある市営駐車場は、入口の敷地問題、立地条件等に問題があるため利用されておられないのが実情であ

老人に十割給付を

国民健康保険税の件であります。医療費等の繰上げから、家庭経済に大きな比重を示すようになってまいりました。

県管建物移転後の敷地利用

大野警察署、大野土木出張所移転に伴う今後の取扱いをお伺いします。

ります。このように駐車場としての条件が早急に整わないのなら、今後この駐車場の使用方法をかえて、子ビツ子広場として活用すればよいのではな

東校の建設の件であります

私は市内の小学校を四校にするのが理想であると考えております。しかし、財政との調和を考える時にまだ現

老人に十割給付を

国民健康保険税の件であります。医療費等の繰上げから、家庭経済に大きな比重を示すようになってまいりました。

東校の建設の件であります

私は市内の小学校を四校にするのが理想であると考えております。しかし、財政との調和を考える時にまだ現

老人に十割給付を

国民健康保険税の件であります。医療費等の繰上げから、家庭経済に大きな比重を示すようになってまいりました。

東校の建設の件であります

私は市内の小学校を四校にするのが理想であると考えております。しかし、財政との調和を考える時にまだ現

第七号	大野市通学区域審議会条例案	教育民生	可決
第七号	大野市特別職の職員で非常勤のもの報酬および費用弁償に関する条例の一部を改正する条例案	総務	可決
第七号	専決処分承認を求めるとのことについて	産業経済	承認
第七号	字区域の変更について	可決	承認
第七号	固定資産評価審査委員会委員の選任について	同意	同意

東校の建設の件であります

私は市内の小学校を四校にするのが理想であると考えております。しかし、財政との調和を考える時にまだ現

老人に十割給付を

国民健康保険税の件であります。医療費等の繰上げから、家庭経済に大きな比重を示すようになってまいりました。

東校の建設の件であります

私は市内の小学校を四校にするのが理想であると考えております。しかし、財政との調和を考える時にまだ現

老人に十割給付を

国民健康保険税の件であります。医療費等の繰上げから、家庭経済に大きな比重を示すようになってまいりました。

東校の建設の件であります

私は市内の小学校を四校にするのが理想であると考えております。しかし、財政との調和を考える時にまだ現

真名川ダム対策特別委員会 副委員長に 広瀬氏

欠員中の副委員長を互選の結果、広瀬己佐雄氏が選任されました。

委員会の活動

九月定例会の各委員会の状況は次のとおりです。

▲建設委員会

付託案件は議案二件、請願七件、陳情三件で議案はいずれも原案を可とすることに決しました。

なお西谷浴場の管理運営を団地に移管するよう要望しました。

次に請願陳情については請願四件、陳情一件を採択、請願三件、陳情二件を継続審査とし、前回六月議会で継続審査となつたうち陳情一件を採択、請願・陳情各一件をさらに検討すべきであるとして再び継続審査とした。

なお陳情のうち部落および区道の舗装工事に対する補助額の問題は、市道舗装がまだ完了の域に達しない時でもあり今後の検討を要請したものであります。

道路舗装改良など要望が山積しているため、財源の許す限り補正に傾注されるよう要請しました。

▲教育民生委員会

今回付託された議案七件、請願・陳情各一件審査の結果いずれも原案可決あるいは採択に決しました。

▲産業経済委員会

付託をうけた議案二件、請願二件いずれも原案を可とし、採択に決しました。

▲総務委員会

付託案件は議案八件でいずれも原案を可としました。審議過程において、市役所機構改革にあたり、公害対策係、農地係の設置

および林務・商工観光・厚生課に担当係の設置など要請したが、人員その他の関係で、すべて設置することは至難なので将来その趣旨にそふようとの表明があつたのでした。

および林務・商工観光・厚生課に担当係の設置など要請したが、人員その他の関係で、すべて設置することは至難なので将来その趣旨にそふようとの表明があつたのでした。

▲財政対策特別委員会

付託された財政再建計画変更の議案を原案どおり可といたしました。

陳情・請願

九月定例会市議会に出された陳情・請願の結果は次ぎのとおりです。

採択されたもの

▽施設整備補助について (大野荘理事長 近藤又右工門)

▽市道改良舗装について (大門区長 西川一男ほか八十名)

▽整備費、運営費の助成について (大野織物工業協同組合理事長 齊藤政雄)

▽市道認定について (春日二丁目西区長 鳥山菊四ほか十一名)

▽便所建設について (森山区長 高沢賢一ほか二名)

▽市道舗装について (日吉町二区長 吉川巖ほか二十三名)

▽市道舗装願 (堂島区長 福田甚光ほか七名)

▽水道施設の設置について (蔵生区長 下沢次松ほか十四名)

▽市道舗装願 (橋爪区長 岸本孝治ほか六名)

・前回の継続分

▽市道編入について (柿ヶ島区長 小島政一)

継続審査となつたもの

▽道路舗装について (春日三丁目区長 広瀬庄太郎ほか三十六名)

▽市道拡幅について (上庄中学PTA会長 上田範男ほか一名)

▽道路復旧について (春日一丁目 坂口基助ほか三十名)

▽舗装工事補助について (天神町 安川重雄ほか二名)

▽防火用水確保について (春日二丁目東 近藤又右工門ほか二十六名)

百十九回臨時市議会

八月十一日招集された臨時市議会は故安間政雄議員追悼演説のあと補充当選の新議員の議席を指定し会期を一日間と決め、無投票再選の市長より施政方針の発表があり、新議員の常任特別委員の選任のあと、財産処分、請願契約の締結の二議案をいずれも原案どおり可決し閉会しました。

新議員の議席および委員会
加藤正晴 十七番

月	日	議会の動き
七月	九日	霊場建設特別委員会
	十三日	霊場建設特別委員会
	十七日	北信越市議会議長会 雪害対策強化特別委員会(新井市)
	二十一日	北信越市議会議長会 輸送力強化特別委員会(小矢部市)
	二十二日	議会運営委員会
八月	三日	公害対策特別委員会
	六日	総務委員会
	十一日	市議会臨時会
	十八日	産業経済委員会所管調査
	二十一日	福井県市議会議長会臨時総会(小浜市)
九月	二十四日	真名川ダム対策特別委員会
	二十一日	議会運営委員会
	二十二日	市議会定例会(第一日)
	二十四日	本会議(第二日)
	二十五日	建設委員会
	二十六日	産業経済委員会
	二十七日	教育民生委員会
	二十八日	本会議(第三日)
来局	七月十五日	東京都田無市議会議員(五名)
	七月十五日	東京郡田無市議会議員(五名)
	九月二十九日	岡山県倉敷市議会議員(十名)

・財産処分は龜山の宅地で有償払下げ・請負契約は葬祭場新築工事で嶺北産業(株)との契約です。なお目下工事中で明春三月に完成の予定です。

固定資産評価審査委員 選任される

九月定例会の最終日に任期満了に伴う人事案件が提案され、松田市治氏が再選されました。

大野市東山第五号三番地 松田 市治

あとがき

夕空に柿ふくらんで風にはえ、すすきも枯れて秋深まった感じがするころであります。

さて、九月定例会、市議会報大野第三号の発行は本年の最後になります。次回の十二月定例会第四号は年が明けてからになります。議員各位も四年間の任期をいま終ろうとしております。このころ、有終の美を飾って市民各位にこたえるべく、あらゆる面において東奔西走、多忙をきわめております。道路整備、環境衛生施設の完備、公害対策、学区制問題、総合農政、企業対策など、市民の福祉、市民の幸福に直結するあらゆる問題について、きめ細かい議員活動を展開しております。今後は、今まで以上に市民各位のご指導、ご協力をお願いして本紙の使命を果したいと考えます。

※ ※ ※ ※ ※